

# Seiun

Vol. 14

輝く人 Interview	02.
同窓会会长 山根 敬介 寄稿	04.
恩師から	06.
CLUB ACTIVITY	07.
同窓会報告	08.
第5回 総会・懇親会申込方法	09.
Message from the New Principal	11.
校長 三村 浩一	



青

雲  
せいうん

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会会報

# 輝く人 Interview

山根 敬介さん  
(普通科4期生)



次期同窓会会長の山根敬介さんに、当時の泉ヶ丘高等学校のことや、現在の仕事である税理士の現場での体験、同窓会活動への今後の抱負などのお話を伺いました。

# 皆さんが思うよりずっと創造的な仕事です。

□ 泉ヶ丘高等学校では、どのような学校生活を送っていましたか？

部から見られるのは非常に面白いです。2点目は、創造的な仕事である点です。会計事務所というと、お客様から伝票をもらってきて帳簿をつけて税金の計算をするというイメージが強いかもしれません。確かに毎月スタッフがお伺いしてチェックや相談にのるというのはベースなので、創造的と言う意外かもしません。

いろいろなことをやっているせいか、創造力が求められます。最近話題のM&Aでは戦略や戦術を考えたりします。管理業務を作る時には、図を書いたりもします。論理的な思考だけでなく、想像力も必要な仕事だと思います。中小企業や中堅企業でもM&Aなどは身近な話となっていて、仕事の場は広がっています。

3点目は、仲間に巡りあえたことです。今はアーサー・アンダーセンの先輩や後輩、その知り合いなどと企業の海外進出の支援なども行っています。彼らは海外で独立して事業所経営するなど、優秀で非常に刺激を受けます。また、仲間といふ意味では、色々な経営者や社会の先輩方にあるのも良い点です。海外事務所を見学することや海外案件など、海外出張が出来ることも楽しみの一つです。

□ 反対に不満があれば、いくつか上げてください。

不満がないというと嘘になりますが、1つあげるとするならば「一生勉強し続けなければならない点です。どんな仕事でも勉強が必要ですが、とにかく最近は会計基準も税

怒っていた記憶があります。合宿など泊まりの時は早く寝てしまうので、夜中の悪さには参加しなかったのですが、たまたまいた時に見つかったりとか怒られた記憶の方が良く残りますねえ。主犯ではないのですが、その場にいたりすることが多かったので、「いつもよかみ」とか言われてしまいます。

中学1年の時の三瓶山での合宿の時に熱学バスが出ているようですが、当時は通勤ラジオの南海本線で新今宮に出で、高野線と泉北高速で泉ヶ丘にリターンでした。よく6年間も通学できたなあという感じです。変だった記憶があります。今は泉大津から通学バスが出ているようですが、当時は通勤ラジオの南海本線で新今宮に出で、高野線と泉北高速で泉ヶ丘にリターンでした。よく6年間も通学できたなあという感じです。

あとは、中学からバスケットボール部に所属し、下手でしたが高校の引退時まで続けられたことが良かったです。最初はバスケット部だけ貸し切り状態、しかも3学年しかなかつたので高校の先輩と一緒に練習していたのも楽しい思い出です。

□ 当時の心に残るエピソードがあれば、お聞かせ下さい。

当時の記憶は結構忘れているのですが、学校に来る思い出します。朝が早かつたせいか、授業中によく寝ていて

現時点では会長代行として同窓会に参加させていただいています。幹事の皆様と一緒に帝塚山学院としてすばらしい諸先輩方がい

まりの時は早く寝てしまうので、夜中の悪さには参加しなかったのですが、たまたまいた時に見つかったりとか怒られた記憶の方が良く残りますねえ。主犯ではないのですが、その場にいたりすることが多かったので、「いつもよかみ」とかと言われてしまいます。

中学1年の時の三瓶山での合宿の時に熱学バスが出ているようですが、当時は通勤ラジオの南海本線で新今宮に出で、高野線と泉北高速で泉ヶ丘にリターンでした。よく6年間も通学できたなあという感じです。変だった記憶があります。今は泉大津から通学バスが出ているようですが、当時は通勤ラジオの南海本線で新今宮に出で、高野線と泉北高速で泉ヶ丘にリターンでした。よく6年間も通学できたなあという感じです。

あとは、中学からバスケットボール部に所属し、下手でしたが高校の引退時まで続けられたことが良かったです。最初はバスケット部だけ貸し切り状態、しかも3学年しかなかつたので高校の先輩と一緒に練習していたのも楽しい思い出です。

□ 卒業されて社会に出てぶつかった壁はありましたか？

大学を卒業して、アーサー・アンダーセンの監査部門に就職しました。日本の上場企業だけでなく外資系の会社の監査なども出来ただけで、面白かったです。

勤めていたときの壁というと、英語と数学

法も毎年毎年、大きく変わるので大変です。毎年百ページ単位で増えしていくのでキヤッチアップしきれなくなります。

それと数学は勉強しておけばよかつたなあと思います。私立文系志望だったので、受験に必要ないと知ると勉強しなくなつたのですが、今は、企業や株の評価などに必要な時があります。「金融工学、金融数学」と言われているやつですね。さつき言つたように、英語と数学を身につけることは、経済社会での世界を拓げるために必要だと思います。

凝つているわけではないのですが、「ゴルフに対する周りの方からのプレッシャー」が相当あります。仕事柄おつきあいする機会はこれから益々増えるとは思いますが、ボールに向かって走り回るだけではまずいという状況です。(笑)周りはうまくなつていくし、もともとスポーツは苦手ですね。特に球技は。(笑)

原点に戻る場だと思います。ノースルージーにひたる歳でもありませんが、中学や高校の同級生とは、時間がたつてもすぐに昔に戻ることができます。バカな思い出や消したい思ひ出もあるかもしれませんのが、全てを受け入れる場だと思います。成功していくも失敗していくも、笑つて参加できる場であつてほしいです。また、泉ヶ丘校の今後の発展に少しでも同窓会が貢献できればよいとも思います。

□ 最後に卒業生の皆さんにメッセージをどうぞ。

我々はまだ若くて忙しい世代ですが、忙いからこそ少しでも同窓会活動に参加していただければと思います。歳をとつて、時間

のですが、海外に行く前に6年間でやめるこになりました。大阪に戻ったことは後悔していないんですが、英語をマスターしきれなかつたのは残念ですね。仕事は大変でも組織の中だったので、気は楽だったような気がします。今は15名ばかりの事務所でも応、経営者ですので、色々な意味で壁にぶつかっています。

最初は大阪の中小企業と「商売」の文化にとまどいました。勤めていた時の一番の違いは、仕事・経営・アイデアや時には不安感などを考え始める、夜眠れないこともあります。どうことでした。

□ 今のお仕事を選ばれた理由と今の仕事を良かっただと思える点を3つ教えて下さい。

父が税理士だったので、大きめの仕事で良かっただと思える点を3つだけあげるのは難しいですが、1点目は色々な企業や経営者に出会える点です。経営者は孤獨ですから、会計事務所にご相談いただき事が多いですし、様々な規模や業種を内

P R O F I L E
やまね けいすけ 山根 敬介さん (普通科4期生)
<p>1993年 アーサー・アンダーセン東京事務所(現あづさ監査法人) 入社。上場企業や外資系企業の監査に従事。</p> <p>1999年 ASG監査法人にてベンチャー企業の上場支援と監査に従事。</p> <p>2000年 税理士法人山根会計事務所 代表社員(現任)</p> <p>2002年 エス・シー・エス国際会計事務所 パートナー(大阪担当) 中小企業・中堅企業を中心に会計・税務コンサルティング、 事業承継、M&amp;A、企業再生、株式上場、海外進出支援などを行っている。</p>



# 日々激変するIT業界の異端児。

月  
一  
丁  
八



思うに私は人生において、自らの意思で自分の進路を決めたことはほとんどなく、およそ運命の成り行き任せに身を委ねてきたのですが、泉ヶ丘高に入学したのがその最初でした。成績はともかく授業態度が悪かつたので、公立立高校は内申点が足らなかつたのです。

大学では化学が専攻でしたが、関係ないパソコンでのプログラミングにはまりフリーのプログラマとして、当時の新卒の初任給の数倍の収入を得てしまい、そのまま就職活動をすることもなく、誘われるまま取引先だった東京のバッケージソフトウェアの流通商社に入社しました。5年間サラリーマン生活

のプロ意識と責任（

医師になり11年、現在私は平成16年に世田谷区で開業した箕山クリニックにおいて忙しい日々を送っています。高校の頃からスポーツが好きで、医学部に入学した時には既に将来の専門はスポーツ医学と決めていました。箕山クリニックは、その頃から思い描いていたスポーツ医療を中心に行なうスポーツクリニックであります。

よく医療はチームで行なうもの、つまりチーム医療と言いますが、スポーツ医療もアスリートに対して、スポーツドクター・理学療法士（ケガ後の身体機能改善、いわゆるリハビリ）を担う医療資格者（アスレティックトレーナー（ケガの予防のためやケガからの復帰のためにトレーニングを担う選

# チーム医療としてのプロ意識と責任。

をしたあと、勤務先が倒産・残務整理をしていると、まわりの友人たちにそそのかされるまま、ソトウエアの開発会社として株式会社ドワーノを設立しました。それが10年前の話です。最初の2年間は自転車操業でしたが、社員のひとりが携帯電話のゲームを勝手につくりヒットするところから運が向いてきました。大手企業から出資が続々決まり、外部から社長も招いて、株式公開は間違いない雰囲気になりました。私は早くも引退モードにはいり、会社には1日2時間もない有様。これはまずいとリハビリも兼ねて、学生達を集めて着々ビジネスをはじめます。いろいろメロミックスと名づけたこのサービスは400万手に一番近い存在)の3者がチームでケアを行ないます。このうち1者でも欠けていたり、また1者でもプロ意識や責任感に欠けていたりすると、アスリートに対して決して最適なケアは行なえません。現場を知らない厚労省の役人は、専門医療は大学病院でといったように単純にしか考えませんが、かえって大きなところほどチームが密にコミュニケーションを取りながらアスリートをケアしていくことはできないものです。そこで、診療所レベルでのチームスポーツ医療を実現できる施設が必要だと常々思っていましたが、現在それを箕山クリニックで果たすことができています。スポーツとくにプロスポーツという白黒がはつきりするもの

人以上の会員を集める大ヒットとなり、マザーズを経て史上最短で東証一部に上場する原動力となりました。またもや自堕落の生活がはじまり、業績も低下していくのですが、現在、筆頭株主となっていた大いにエイベックスのみなさんとの出会いも刺激となり、またもや、これはいかんと一念発起、昨年末より、友人である2ちゃんねるの西村博之氏の協力を得て、ニコニコ動画という新サービスをはじめました。これがまた大ヒットしそうなのです。ネットの世界では、今のところ、2007年最大の話題ですが、移り変わりの激しいこの業界です。さて、この原稿がのる頃にはどうなっていることやら。

わりー

を対象に医療を行なっていくことは、自らもプロとして責任誇り、プライドを持ついなければならなく、医師としての責任だけではなくさらなる重圧があります。しかしながら、むしろその緊張感を楽しんでいるかもしれません。

スポーツ医療に特化したクリニック経営はとても大変なことです、トップアスリートのみならず学生スポーツ選手や一般のスポーツ愛好家に至るまで、スポーツを愛する人たちが身近な診療所レベルで最適な専門医療を受けることができるよう、これからも信念とこだわりを持って発展していきたいと思います。

**華**やかな仕事の裏にある努力と勉強。

中筋 壴人さん(普通科  
10期生)



高木さん：五年前、今から五年前に、私はダブルスクールとしてMCの専門学校にも通いました。そして現在のプロダクションに所属し、これまでテレビのリポーター、ラジオのパーソナリティ、イベントのMCと様々な仕事をしてきました。華やかな仕事ですが、その裏では大変な努力が必要です。特にラジオは大変です。色々な人からの様々なメッセージに的確に答えるために、どんな情報でも興味を持つて勉強する事が必要です。そして話にリアリティーを持たせるための人生経験も必要です。この仕事を始めてから何度も壁にぶつかり、自分には無理だと諦めかけた時もありました。し

達からアドバイスをもらうことができ、その度に壁を乗り越えることができました。その中でも僕が特に大きな影響を受けたのが事務所の先輩でもあるキダ・タローさんと東京FMやFM大阪でもDJをしている山本シユウさんです。お一人に会かい、この仕事がどれだけ多くの人に影響を与えるのか、どれだけやりがいのある仕事かということをたくさん教えていただきました。

# 選選 んだことすべてをベストにする力。

**脇田 美弥子さん**（国際科 1期生）  
（旧姓 稲田）



卒業してもう何年になるだろうか。私はある意味、目立った生徒だったようと思える。優秀な生徒が突然やつてきたのだが、こういう場で何かを語るというの恥ずかしい限りである。

私は大学卒業後、就職。そして11年前に結婚。その1年後に主人とともに鉄板焼店を開店、無心で働き続けた。お店が軌道にのるまで、Oしたいた私にはこの慣れない仕事は精神的、心身ともにかなり辛かつた。そういう時支えになつてくれたのは、高校時代の友人であったように思う。何かと屁理屈を並べ立て不満を口に出す私に彼女たちは夜中まで付き合つてくれた。彼女たちは今でも私の貴重な財産である。

トなのか10年間悩み続けた。お店はようやく軌道にのり、週末は予約がないと入れないような状態になつた。去年何を思ったのか、全く興味のなかつたブリザーブドフラワーとやらを習い始めた。そして今年初めに全国で行われた2007フローエバーブリザーブドフラワー・コンテストに応募、応募者は1000人ほどの中から入選してしまった。審査員は、安部首相夫人をはじめ、有名フラワーアーティスト、著名人達。パーティでは短時間ながら会話をもすることができ、この経験は私の中にある何かを動かし始めた。私は今まで、自分にとってベストの道を探し続けることに時間を費やしたが、消去法ではなく、自分の選んだことすべてをベストなものにしていくべきのだと考え始めた。もし私に人より秀であるものがあるとすれば、自分の中から溢



「鉄板焼き料理専門のお店 脇田」  
Tel. 072-264-6189 南海本線高石駅 徒歩15分

ーではイベントのMCから試合の実況解説まで行い、その中でいかにホームマートアドバンテージを作り、いかに会場を盛り上げるのかということも僕の仕事です。高校時代はバスケ部に所属していた僕にとって一番やりたかった仕事です。シーズン中は選手と日々行動を共にして、試合中はブレイではなく、マイクという武器で一緒に戦っています。チームは今シーズン惜しくも2位でした。次の僕の目標はホーム全勝、そしてリーグ制覇です。

管弦楽部は、昨年四月に発足したクラブです。今年は創部二年目になります。現在の高校三年生の先輩方（昨年十二月に引退されました。）が高校一年生だった時に、「クラブを創つて活動（演奏）したい。」という情熱でさまざまな設立のための条件をクリアし、創り上げて下さいました。まだ新しいクラブですが、中学一年生から高校二年生までの音楽が好きな部員たちは、毎日一生懸命練習に取り組んでいます。一年前はどんどの部員は楽器を見るのも初めて、触るのも初めてといふ初心者がほとんどで、最初は音を出すのも大変なぐらいでしたが、今ではさまざまなジャンルの曲に頑張って挑戦しています。

初代の先輩方が引退されて、私が部



## 管弦楽部

高校2年C組 中條 文佳

長になりましたが、最初、クラブ全体をまとめていくのは想像していた以上に大変なものでした。公立中学校で吹奏楽部に所属していた私は、「その時のようにやればうまくいくだろう。」と高をくくっていました。しかし、クラブとしての土台がまだちゃんと固まっていない上に、五学年にまたがる四十人近い部員たちをまとめなければなりません。ですが、きちんとできればとてもやりがいもあり、最近は、毎日充実した活動ができると思っています。

管弦楽部の最も大きな発表の場は、九月の泉ヶ丘祭でのコンサートです。昨年は昇降ホールを使っての初コンサートに温かい拍手をたくさん頂いて、部員員人数も増え、楽器も増えたのでもつと立派な演奏ができるように日々練習に励んでいます。

最後に、今のクラブの悩みは、創部間もないこともあります。学校に楽器が揃っていないため、ほとんどの楽器が個人持ちになってしまっています。そうすると当然、楽器の種類は偏り、中・低音を担当する楽器が少ないので現状です。そこで、家に眠っている楽器がありましたら、どうぞお譲りください。また、楽器の数や種類が増えたら、もっと重厚な演奏ができると思います。これからも、管弦楽部の発展のためにもどうぞご支援、ご協力を願っています。

## CLUB ACTIVITY 部活動報告



## 剣道部

高校2年B組 辻脇 聰志

卒業生の先輩は、泉ヶ丘校の地理



現在の部員数は、中高合わせて約二十人です。最初は少人数でしたが、少しづつ部員が増えました。現在二年生は時間が少ない中、頑張っていますし、一年生はまだ面をつけていませんが、素振りなどに熱心に取り組んでいます。そして、中学生は高校生に混じって、毎日まじめに練習しています。高校一年生の中に、以前中学生の大學生で大阪府一位になった堀場君という男の子がいます。堀場君が入部したことで、クラブがより活発になり、とても雰囲気が良くなりました。堀場君は明るくて、剣道部のムードメーカー的な存在です。

現在の主な練習内容は、素振り(片手素振り・手首正面素振り・体さばき・左右目面打ち・早素振り)、すり足、基本応じ技、地稽古などです。

土曜日には今でも佐々木先生が師範として、熱心に指導して下さっています。試合の応援にも駆けつけて下さり、とても心強いです。試合前の稽古では練習試合をして下さり、昇段前には実技や形の練習も指導して下さいます。剣道部員にとって佐々木先生はとても大きな存在です。そんな佐々木先生に最も幸せそうです。

卒業生の先輩は、泉ヶ丘校の地理

の教師になられて、剣道部に時々来て下さります。小西先輩や町田先輩も来て下さいました。先輩方の指導はとても勉強になり、有難く思います。又、機会があれば見に来ただければ嬉しいです。

最近、六月三日には個人戦、九日には男子団体戦、十日には女子団体戦が行われました。僕は個人戦で一回戦負けましたが、残りの二人は三回戦まで勝ち上がりました。団体戦では男子は一回戦で大手前高校と当たり、惜しくも負けてしまいました。女子は一回戦を勝ち上がりましたが、二回戦目に桜宮高校と対戦し、負けてしました。しかし全員がその悔しさをバネにして頑張っていました。これがまた面倒くさがっていていただけたらと思っています。

月の試合に向けて練習に励んでいると、これまで大手前高校と当たり、惜しくも負けてしまいました。女子は一回戦を勝ち上がりました。これがまた面倒くさがっていていただけたらと思っています。

このまま面倒くさがっていていただけたらと思っています。応援宜しくお願いします。

これからも剣道部の言葉、「毅力同心」をモットーに練習に励んでいたいと思います。応援宜しくお願いします。



森 俊樹先生(国語)

同窓生の皆さんこんにちは。お元気でお過ごしですか。

泉ヶ丘校は昭和58年に開校し、私はその開校の年に住吉の中等部から赴任してきました。開校の初年は普通科一期生と中学一期二期生(普通科三期四期生)の3学年7クラスでスタートしました。総勢で300人にも満たない生徒数でした。以来24年の歳月が流れ25年目となった本年度は、1260名の生徒が本校で学んでいます。女子だけのクラスというのも18年度でなくなり、本年度からは中高あわせて34の全クラスが男女共学となりました。草創期から勤務された先生方の何人かが定年で退職されたのは寂しいのですが、その入れ替わりとして、優秀で有能な中堅若手の先生方が数多く加わり、毎日校内のあちらこちらで、熱心で活気のある指導がなされています。私もまた元気に頑張っています。

赴任以来変わることのないのが、国語科教科室の私の座席です。入り口から最も奥のベランダ側です。皆さんは国語科教科室を覚えていますか。

登校の際に、赤いレンガの昇降階段を上ったと思いますが、国語科教科室は昇降口に向かって左側の2階に位置しています。職員室の座席は1年ごとに毎年変わるのが、教科室の座席はこの25年変わっていません。実は、私はこの位置がとても気に入っています。それは、ベランダの窓一面をふさぐほどに大きく成長した欅の木が、近年ますます青々とした緑をたたえているからです。今では3階の軒先から屋上のへりに届くまでになっています。特に新緑の季節は、この緑が校舎の赤レンガに映えて、とても素敵で落ち着いた雰囲気を醸しだします。枝葉の間から漏れてくる日の光も柔らかく感じられ、授業を終え教科室に戻ってこの緑を目にすると、気分が和みます。往時はこの欅の木も背が低くて、昇降階段を隔てて美術・技術室側のベランダが見通せたものでした。作業の最中と思われる時間帯に、そのベランダでうろちょろしている悪童がたまにいて、「コラッハ」と声をかけたのですが、今の生徒は皆お行儀がよくなり、そのような姿を見かけることはなくなりました。もっとも青々と一面に茂った欅の木の枝葉が、視界をさえぎるまでになっているのですが……。枝葉が長く伸びすぎたということで、この欅の木の枝を短く切り落とすことになった、と昨年の冬に聞いたとき、どれくらいの短さに刈り込んでしまうのかちょっと気になったのですが、適度の剪定でおさまり、ほっとしたものです。ところで、私の席が変わらないのは、国語科教科室の先生方が席替えを面倒くさがっておられるからかもしれません。はっきり尋ねたことはありませんが、もしそうなら、願わくはこのまま面倒くさがっていていただけたらと思っています。

同窓生の皆さんこんにちは。お元気でお過ごしですか。

泉ヶ丘校は昭和58年に開校し、私はその開校の年に住吉の中等部から赴任してきました。開校の初年は普通科一期生と中学一期二期生(普通科三期四期生)の3学年7クラスでスタートしました。総勢で300人にも満たない生徒数でした。以来24年の歳月が流れ25年目となった本年度は、1260名の生徒が本校で学んでいます。女子だけのクラスというのも18年度でなくなり、本年度からは中高あわせて34の全クラスが男女共学となりました。草創期から勤務された先生方の何人かが定年で退職されたのは寂しいのですが、その入れ替わりとして、優秀で有能な中堅若手の先生方が数多く加わり、毎日校内のあちらこちらで、熱心で活気のある指導がなされています。私もまた元気に頑張っています。

赴任以来変わることのないのが、国語科教科室の私の座席です。入り口から最も奥のベランダ側です。皆さんは国語科教科室を覚えていますか。

登校の際に、赤いレンガの昇降階段を上ったと思いますが、国語科教科室は昇降口に向かって左側の2階に位置しています。職員室の座席は1年ごとに毎年変わるのが、教科室の座席はこの25年変わっていません。実は、私はこの位置がとても気に入っています。それは、ベランダの窓一面をふさぐほどに大きく成長した欅の木が、近年ますます青々とした緑をたたえているからです。今では3階の軒先から屋上のへりに届くまでになっています。特に新緑の季節は、この緑が校舎の赤レンガに映えて、とても素敵で落ち着いた雰囲気を醸しだします。枝葉の間から漏れてくる日の光も柔らかく感じられ、授業を終え教科室に戻ってこの緑を目にすると、気分が和みます。往時はこの欅の木も背が低くて、昇降階段を隔てて美術・技術室側のベランダが見通せたものでした。作業の最中と思われる時間帯に、そのベランダでうろちょろしている悪童がたまにいて、「コラッハ」と声をかけたのですが、今の生徒は皆お行儀がよくなり、そのような姿を見かけることはなくなりました。もっとも青々と一面に茂った欅の木の枝葉が、視界をさえぎるまでになっているのですが……。枝葉が長く伸びすぎたということで、この欅の木の枝を短く切り落とすことになった、と昨年の冬に聞いたとき、どれくらいの短さに刈り込んでしまうのかちょっと気になったのですが、適度の剪定でおさまり、ほっとしたものです。ところで、私の席が変わらないのは、国語科教科室の先生方が席替えを面倒くさがっておられるからかもしれません。はっきり尋ねたことはありませんが、もしそうなら、願わくはこのまま面倒くさがっていていただけたらと思っています。

同窓生の皆さんこんにちは。お元気でお過ごしですか。



松下 幸博先生(国語)

今年度、中学生に古典を教えることもある、この春三十年ぶりに『論語』を読み返してみました。以前は例えば「如

何せん、如何せんと云うことなき者、我これを如何ともするなきなり」といった教育者「孔丘」の人生訓的なことが印象に残りましたが、今回ゲッターカードの先生は、「年四十にして憎まるるは、それ終わらんのみ」、「年四十五にして聞こゆるなきは、畏るるにたらず」といったアリスト「孔丘」の辛辣なことばの数々でした。憎みたければ憎むがいい、憎まれるのはむしろ望むところなどと開き直ってはみるもの、泉ヶ丘に勤めて二十年あまり、馬齢を重ねてきた自分をうつことばでした。

ところで、その間の自分にとって教師としての礎石ともいべきものは何だったかと考えてみると、授業を通して、あるいは担任あるいは分掌の関係で接した生徒たちとの関わりこそがそれだったのだというあまりにも当たり前にあります。最近、政治の世界からは「教育改革」云々が声高に聞こえてきますが、教師と生徒の全人的でダイナミックな相互関係なしに「学校」とか「教育」は成立しないでしょう。卒業生の諸君といろんな場でしゃべっていると、この思いを強く持ちます。その意味で、私をふくめ本校の先生方は、ほんとうに恵まれていると思います。

そんなことを考えながらにげなく新聞を読んでいると、こんなことばに出会いました。「筋織維との対話ができる、世界記録は狙える」長野五輪スピードスケートの金メダリスト清水宏保のことばです。一瞬、??と思いました。筋織維との対話!それは一体何…?清水宏保といえば、低重心で矢のようにリンクを駆け抜けた、強烈なスケーティングが鮮明に脳裏に刻み込まれています。私のような素人にも、あの強靭な滑りは長年にわたる想像を絶するような苛酷なトレーニングのなせる技だということがよく分かりました。でもそれはもう十年近くも前のこと。今は「もう」33歳。なのに、いまさら世界記録云々とは、失礼ながらほとんど妄想にすぎないのではないか…。

けれどこのことばはいつのまにか私の心に根を下ろしていました。その意味するところは、素人にはうかがい知れない繊細なミクロの世界を表現したものではあるでしょう。しかし自らの目標を「筋織維との対話」などということばで表現したアスリートがかつていたでしょうか。たぶん清水選手は、記録そのものよりもスケートに向かう自らの姿勢を語ろうとしたのではないですか。

このことばは「論語」と同様、私にとってはかなり辛辣でした。子供たちの心の奥の微妙な襞をなかなか見抜くことができず、如何せんと咲いてばかりいる自分の姿を目の前に突きつけられたような気がしました。残された年も多いとはいえない今、新たな何かを手に入れる必要を感じています。とりあえず「もう」というのはやめよう。「もう」五十ではなく「まだ」五十ということになります。

最後になりますが、卒業生のみなさんは、今それぞれの場所で精一杯生きておられることと思います。どうかそのそれぞれに場所で、他人には分からずとも自分にとってかけがえのない、これこそが自分を支えているのだということば(いわゆる「言葉」である必要は全くない)を探し続けてほしいと思います。



*Message  
from the New  
Principal*

泉ヶ丘校は今年で創立25年目を迎えます。これまで順調に発展を続け、大学進学実績において、今年の「医学部に強い」ベスト200校、「サニテー毎日」5月20日号で、全国168位、大阪で14位についており、難関大を目指す進学校としての地位が定着しつつあります。

しかし、「ハイレベルの進学校」をつくるという創立期の目標はまだ達成されているとは思っていません。また、進学面だけでなく、人間としての生きる力を養成すること、生徒の持つ多様な潜在力を發揮させることなどにもさらに力を注入しなければなりません。帝塚山学院の伝統を继承する、明確な特徴をもった「オンライン・リーウィン」の学校でありたとい考えています。

泉ヶ丘校は、公立学校の復権あるいは少子化など、厳しさを増しています。このような状況でさらなる飛躍を期するために、教職員が一丸となって学校改革に努めなければなりません。その舵取りを任せられたわけですから、責任の重さをひしひしと感じています。

ところで、リーダーに必要な資質は何でしょう。テレビ・新聞・雑誌などでリーダーを扱った番組・記事を追いかけていますが、リーダーはそれぞれに個性があり、普遍的リーダー像というものはないという気がします。

NHKの「プロフェッショナル」は私の好きな番組の一つですが、番組に登場する指導者はおとなべて、失敗や挫折を経て、自分で開拓しなければならないということです。やはり、重要なのは自分の頭で考える力ではないでしょうか。しかし、他人の意見に耳を傾けることも同様に大切です。一人で考えていると独善に陥りやすいからです。同窓生の皆さんもぜひ泉ヶ丘校について忌憚のない意見をお寄せください。また、帝塚山学院90周年寄付事業にもどうかご協力を願います。

泉ヶ丘校創立30周年にはさらにレベルアップした学校の姿を同窓生の皆さんに見せられるよう微力ながら全力を尽くしたいと思っています。



## さらにレベルアップした 泉ヶ丘校にご期待ください

校長 三村 浩

# 第5回 泉ヶ丘校同窓会 総会・懇親会申込書

フリガナ	フリガナ	男・女
お名前	旧姓	
卒業学科	コース	年卒
ご住所	〒 Eメール	
TEL/FAX	TEL. ( ) FAX. ( )	
携帯電話	( )	
学校名・勤務先	TEL. ( )	
メッセージ (ご自由にお書き下さい)		

※どちらかを選んで○を付けて下さい

お連れ様	・小学生以上のお子様( 参加する ・ 参加しない )	・参加すると答えた方のみ( )名
お支払	( 郵便振替口座振込 ・ 当日現金払い )	

開催日	平成19年11月18日(日)
場所	スイスホテル南海大阪(難波)芙蓉の間
料金	【大人】5,000円 【子供】1,000円 (同窓会員のお子様に限る)
お申込先	FAX. 072-293-8680
応募締切	参加ご希望の方は10月19日(金)までに必ずお申込下さい。

※個人情報になりますので、FAXを送信されるときは番号のお間違えにはお気を付け下さい。

平成18年度 会計報告	
収入の部	支出の部
前年度繰越金 22,355,188	連絡協議会分担金 146,700
会費 5,240,000	贈答費 311,062
雑収入 9,998	謝礼費 23,775
合計 27,605,186	通信・慶弔費 127,825
	郵便費 402,114
	東京同窓会関連費 40,000
	会誌費 525,210
	卒業アルバム費 63,000
	活動費 162,029
	人件費 1,491,593
	備品消耗品費 278,060
	雑費 5,466
	合計 3,576,834

計 報			
(普通科1期) 堀之内 徳久さん <平成18年4月4日>	(国際科4期) 加藤 雅子さん (旧姓:西村) <平成18年12月4日>	(普通科8期) 泉谷 隆一郎さん <平成19年6月23日>	心よりご冥福をお祈り致します。
泉ヶ丘校創立30周年にはさらにレベルアップした学校の姿を同窓生の皆さんに見せられるよう微力ながら全力を尽くしたいと思っています。			

住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局まで

住所 / 〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局  
電話・FAX / 072-293-8680 E-mail / t.izumi@aurora.ocn.ne.jp ホームページ / <http://www.tezuka-i-h.jp/dousoukai/>

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

# 総会・懇親会のお知らせ

## 日 時

2007年 11月 18日(日)

## 会 場

スイスホテル南海大阪 7階 『芙蓉』の間

## 会 費

大人 5,000円・子供 1,000円

## 締 切 り

10月 19日(金)

詳しくは、9ページをご覧下さい。

